非正規雇用の格差是正を求め
最高裁まで争った女性たちの比類なき裁判資料

日本女性差別事件資料集成 19

メトロコマース事件資料

解題：滝沢香（弁護士） 青龍美和子（弁護士）

全7巻　B5判・上製本　別冊1
本体（230,000円+税）　*分売不可
ISBN978-4-86369-650-1

すいれん舎

本シリーズの刊行趣旨

『日本女性差別事件資料集成』は差別と闘ってきた人々の詳細なドキュメントである。原告から提供された裁判資料とその関連資料を忠実に復刻し、それぞれの事件の現代的意味を考察するとともに、女性の権利の進展を俯瞰しようとするものである。

本資料集の特色

1 有期の契約社員たちが同一労働の正社員たちとの格差是正を求めて提訴——6年間にわたる裁判資料を収録

東京メトロ(東京地下鉄(株))の100%子会社である(株)メトロコマースに雇用されて地下鉄駅売店業務に従事していた有期の契約社員4名が、同じ売店業務に従事している正社員を対象として、本給の格差、資格手当の不支給、住宅手当の不支給、早出残業手当割増率の相違、褒賞の不支給、賞与の相違、退職金の不支給などの格差是正を求めて2014年5月1日に提訴。

2 最高裁まで争い、一部手当の支給は認められるも、中核的労働条件の格差是正は認められず

最高裁まで争い、判決は早出残業手当の割増率格差は不合理としたほか、住宅手当(9200円)の支給と褒賞(勤続10年3万円、定年退職時5万円相当)の支給は認めた。しかしながら月例賃金、賞与、退職金等の中核的労働条件の格差是正は認められなかった。

3 判決文のほか裁判資料を多数掲載

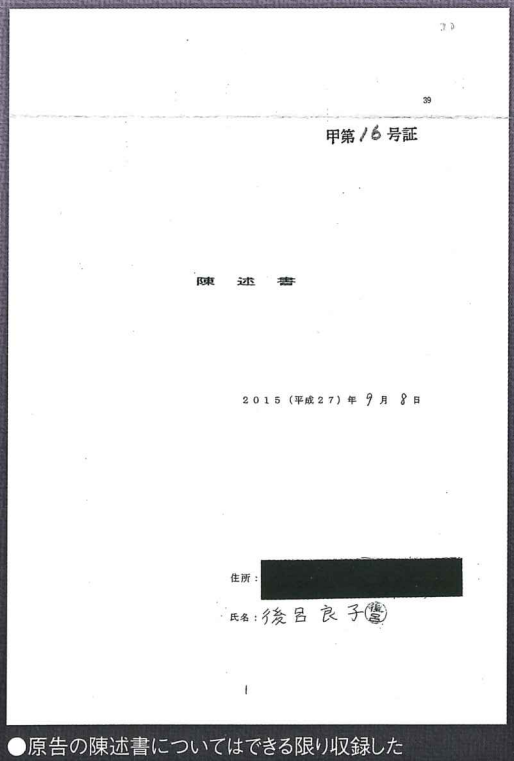
裁判資料は判決文のほか訴状、双方の準備書面、原告陳述書、意見書、原告側証拠資料、本人調書などを収録した。

4 原告代理人による丁寧な解題

原告代理人に事件の概要と裁判の今日的意義について丁寧に執筆していただいた。

●2016年12月　一審経過報告集会

●2020年10月　最高裁前で
非正規差別撤廃の闘いは続く



甲第16号証

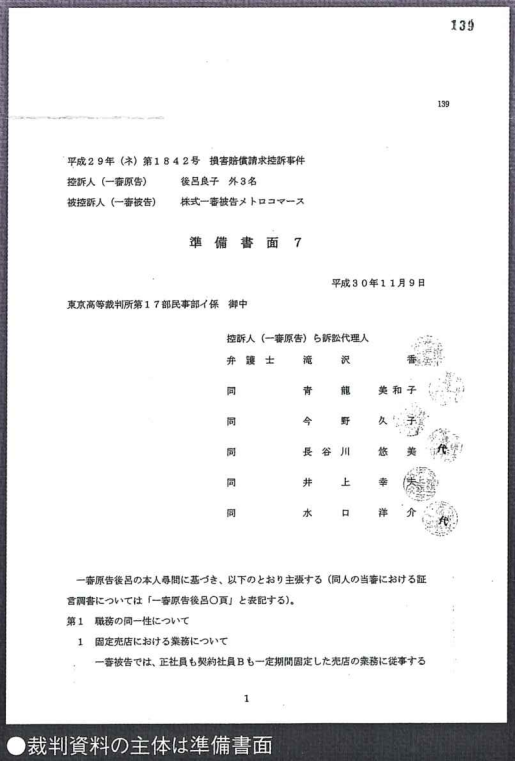
陳　述　書

2015（平成27）年9月8日

住所：[redacted]

氏名：後呂良子

●原告の陳述書についてはできる限り収録した



139

平成２９年（ネ）第１８４２号　損害賠償請求控訴事件
控訴人（一審原告）　後呂良子　外３名
被控訴人（一審被告）　株式一審被告メトロコマース

準備書面７

平成３０年１１月９日

東京高等裁判所第１７部民事部イ係　御中

控訴人（一審原告）ら訴訟代理人
弁護士　滝沢香
同　青龍美和子
同　今野久子
同　長谷川悠美
同　井上幸
同　水口洋介

一審原告後呂の本人尋問に基づき、以下のとおり主張する（同人の当審における証言調書については「一審原告後呂○頁」と表記する）。

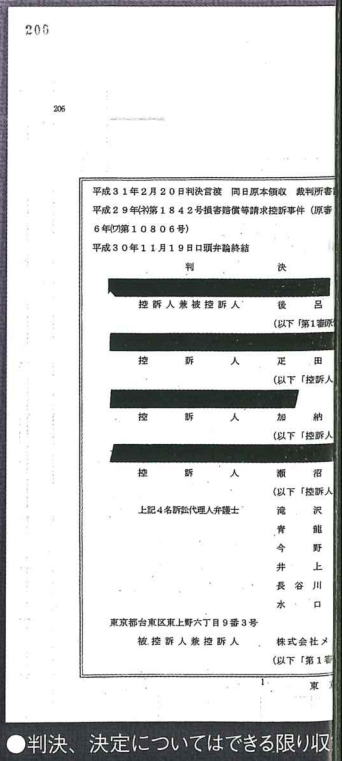
第１　職務の同一性について

１　固定売店における業務について

一審被告では、正社員も契約社員Ｂも一定期間固定した売店の業務に従事する

1

●裁判資料の主体は準備書面



206

平成３１年２月２０日判決言渡　同日原本領収　裁判所書
平成２９年(ネ)第１８４２号損害賠償等請求控訴事件（原審
６年(ワ)第１０８０６号）
平成３０年１１月１９日口頭弁論終結

判　決

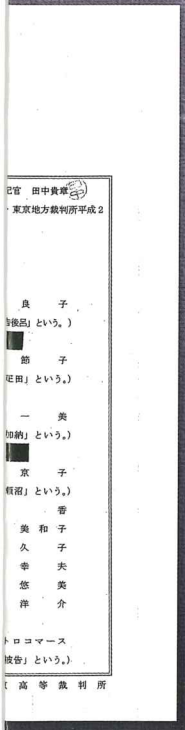
[redacted]
控訴人兼被控訴人　後呂
（以下「第１審原
[redacted]
控訴人　疋田
（以下「控訴人
[redacted]
控訴人　加納
（以下「控訴人
[redacted]
控訴人　瀬沼
（以下「控訴人
上記４名訴訟代理人弁護士　滝沢
青龍
今野
井上
長谷川
水口
東京都台東区東上野六丁目９番３号
被控訴人兼控訴人　株式会社メ
（以下「第１審

1

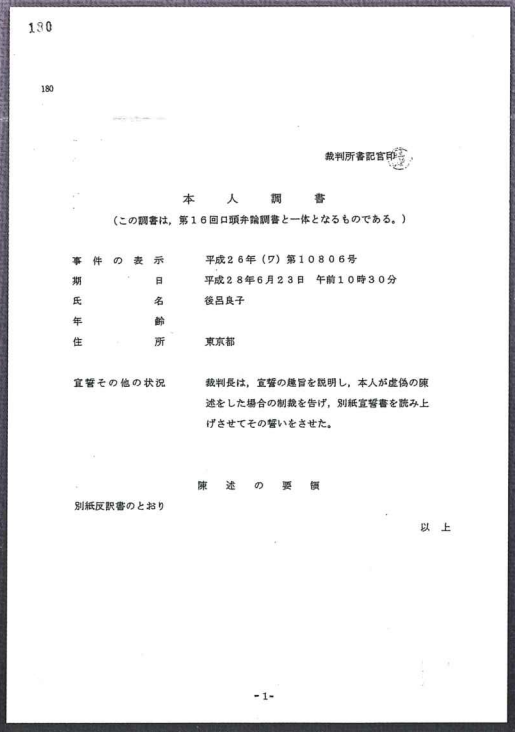
●判決、決定についてはできる限り収

●2016年12月　東京地裁前で行動

●2020年10月　非正規差別最高裁判決　抗議集会


記官　田中貴章
・東京地方裁判所平成２
良　子
後呂」という。）
節　子
疋田」という。）
一　美
加納」という。）
京　子
頼沼」という。）
香
美和子
久　子
幸　夫
悠　美
洋　介
トロコマース
被告」という。）
高等裁判所

録した


180

180

裁判所書記官印

本　人　調　書

（この調書は，第１６回口頭弁論調書と一体となるものである。）

事件の表示　平成２６年（ワ）第１０８０６号
期　日　平成２８年６月２３日　午前１０時３０分
氏　名　後呂良子
年　齢
住　所　東京都

宣誓その他の状況　裁判長は，宣誓の趣旨を説明し，本人が虚偽の陳述をした場合の制裁を告げ，別紙宣誓書を読み上げさせてその誓いをさせた。

陳　述　の　要　領

別紙反訳書のとおり

以　上

-1-

●重要な本人尋問調書速記録を掲載

19期収録資料一覧

1巻	2014年5月1日訴状、準備書面（原告側･会社側）
2巻	2017年3月23日東京地裁判決、最終準備書面、控訴状、控訴理由書
3巻	答弁書、二審準備書面
4巻	2019年2月20日東京高裁判決、準備書面
5巻	2020年7月28日最高裁決定、上告受理申立て理由書、口頭弁論要旨
6巻	証拠説明書（原告側）、甲号証
7巻	甲号証、本人調書

歴史を切り拓いた貴重な資料

浅倉むつ子

（早稲田大学名誉教授）

女性差別に挑んできた数多くの訴訟がある。これらは、原告たちと法律家が織りなす高い志の結実といってよい。彼女たちは、「そんなことは訴訟にはならない」、「裁判所で勝つのは無理」、「法理論的には不可能」と言われながらも、一歩一歩、歴史を切り拓いてきた。「差別は自分たちの代で終わらせたい」、「次世代に明るい未来を残したい」、「差別を否定できない法律では意味がない」、「裁判に勝つことだけが目的ではない」、「大切なのは人としての尊厳と誇り」。そんな女性たちの声と願いは、法の世界を動かしたのである。

訴訟の裾野は着実に広がり、結婚退職制・若年定年制から、昇進・昇格差別やセクシュアル・ハラスメントに至るまで、大きな流れを作りあげてきた。そこに蓄積されてきた裁判資料は、日本社会の現実をもっとも雄弁に物語っている。このたび、これらの貴重な資料を集大成するという壮大な企画が現実化した。大変な朗報である。

差別というものは形を変えながらも、今もなお社会の根底に根強く存在している。だからこそ、先人たちの貴重な努力を風化させてはならない。これらの資料は、間違いなく多くの人を感動させるだろう。私も、差別撤廃のために積み上げられてきた一つひとつの言葉と行動を、この資料を通じて、改めて深くかみしめたいと思う。

権利を闘いとってきた女たち

上野千鶴子

（東京大学名誉教授）

日本では、法律が世の中を変えることは、めったにない。法律ができたときには、社会通念も慣行も、とっくに変わっている。

それを闘いとってきたのは、差別をうけ、それを差別とはっきり認識し、法廷で闘ってきた女性たちと彼女たちを支えた専門家や支援者たちだ。判例が積み重なり、慣行が変わってから、あたかも事実を追認するかのように、ようやく法律が現実に追いつく。女性の採用差別や昇進差別も、結婚退職制も、若年定年制も、差別定年制も、そうやってなくなっていったものだ。85年に男女雇用機会均等法ができて、職場の女性差別を禁止したとき、すこしも新しさを感じなかったのは、その程度の禁止なら、裁判闘争でとっくに獲得していたからだ。

権利も制度も、闘わなければ手に入らない。与えられたときには、求めたものとは違うものをさしだされている。そして手にいれたと思ったはずのものも、いつのまにか足もとを掘り崩される。男女平等が空気のようにあたりまえだとおもっている若い女たちにも、それが先輩の女たちのどんな血の滲むような闘いに支えられているかを、たまにはふりかえってほしい。

推薦者（五十音順）

遠藤公嗣（明治大学教授）
大槻奈巳（聖心女子大学教授）
西谷　敏（大阪市立大学名誉教授）
平澤克彦（日本大学教授）
牟田和恵（大阪大学教授）
山根純佳（実践女子大学准教授）
脇田　滋（龍谷大学名誉教授）
和田　肇（名古屋大学名誉教授）

《本シリーズの全体構成》

【既刊】

1期　日本弁護士連合会　両性の平等に関する委員会資料
2008年11月●本体価格250,000円

2期　結婚・出産退職制、若年定年制、差別定年制等事件資料
2009年9月●本体価格250,000円

3期　賃金差別事件資料Ⅰ 秋田相互銀行不当利得金返還請求事件ほか
2009年12月●本体価格250,000円

4期　賃金差別事件資料Ⅱ
2010年10月●本体価格250,000円

5期　賃金差別事件資料Ⅲ
2011年9月●本体価格250,000円

6期　賃金差別事件資料Ⅳ
2011年12月●本体価格250,000円

7期　非正規社員解雇・差別事件資料Ⅰ
2012年8月●本体価格250,000円

8期　非正規社員解雇・差別事件資料Ⅱ（派遣社員雇止め事件）
2012年12月●本体価格250,000円

9期　母性保護事件資料Ⅰ
2013年8月●揃本体価格240,000円

10期　母性保護事件資料Ⅱ
2014年1月●揃本体価格250,000円

11期　セクシュアル・ハラスメント事件資料Ⅰ
2014年10月●揃本体価格240,000円

12期　セクシュアル・ハラスメント事件資料Ⅱ
2015年10月●揃本体価格240,000円

13期　権利の回復資料
2015年12月●揃本体価格240,000円

14期　賃金差別事件資料Ⅴ
2016年10月●揃本体価格240,000円

15期　マタハラ事件・派遣雇い止め事件資料
2018年3月●揃本体価格230,000円

16期　コース別賃金差別事件・派遣解雇事件資料
2019年3月●揃本体価格230,000円

17期　複合差別事件資料
2019年12月●揃本体価格190,000円

18期　東武スポーツ事件資料
2020年10月●揃本体価格190,000円

19期　メトロコマース事件資料
2021年9月●揃本体価格230,000円

【予定】

20期　資生堂・アンフィニ事件資料
2021年12月●揃本体価格230,000円

《販売対象》

●**経営学部**：労務管理　●**家政学部**：ジェンダー、生活科学、生活経済
●**文学部**：、フェミニズム、女性史、婦人運動　●**法学部**：労働法、民法、憲法、人権法、法哲学
●**社会学部**：ジェンダー、女性学、社会運動、都市社会学、地域社会学　●**経済学部**

株式会社 すいれん舎
〒101-0052　千代田区神田小川町3-14第二万水ビル5B
TEL.03-5259-6060　FAX.03-5259-6070
E-mail　masato@suirensha.jp

取扱店